

北十間川・隅田公園観光回遊路整備の指針について

目的

この指針は、北十間川周辺エリア（枕橋付近～東京スカイツリー®付近）の一体整備を進めるに当たり、関係者間（墨田区・東京都・東武鉄道株式会社）がこのエリアの将来像をイメージし、それぞれが実施する事業目的や内容等に反映するものである。

「北十間川周辺エリア」の将来像

北十間川周辺エリアにおける、このまちにしかない「強み」と現在訪れている「チャンス」、そして、今後達成すべき「チャレンジ」を以下のようにまとめ、北十間川周辺エリアが一体となった賑わい空間を創出することにより、住む人、働く人が自然体で生活でき、訪れる人を快く迎えるまちとする。

強み

- ・色濃く残る、江戸文化とものづくりの歴史
- ・様々に楽しめる、隅田川と北十間川のほとり
- ・東西に位置する、日本を代表する観光拠点（東京スカイツリータウン、浅草）

チャンス

- ・3年後に東京で開催される、オリンピック・パラリンピック
- ・近年高まる、河川敷地活用や舟運事業への関心
- ・ともに増える、イースト東京への注目度と若者世代の人口

チャレンジ

- ・住む人、働く人、訪れる人が混在するまちの特徴を活かす調和のとれた環境づくり
- ・観光客の回遊促進による、観光拠点とまちの一体化
- ・産官学民一体で進める、水辺の強みを活かすまちづくり

河川・道路・公園・鉄道高架下が一体となった賑わい空間の創出

整備の考え方

基本コンセプト：「**伝統と先進が出会う 水辺と街の賑わい交流軸の創出**」

整備方針

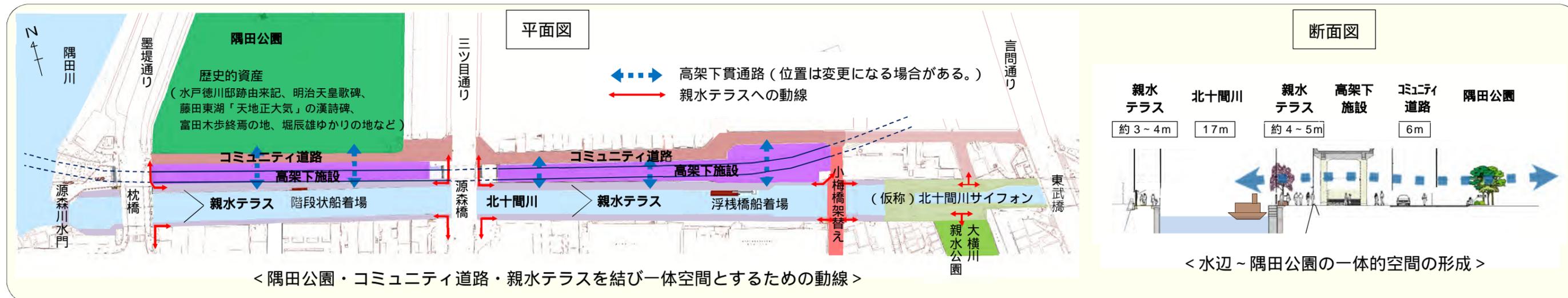
- スカイツリーと浅草を連携・回遊する歩行者ネットワークの創出
- 水辺とまちが一体となった賑わい空間の形成
- 歴史と伝統を活かした観光コンテンツの展開
- 観光舟運と賑わい施設との連携
- コンセプトを具現化する川並み・まち並みの形成

北十間川周辺エリアの考え方（回遊イメージ）



東京スカイツリーと浅草をつなぐ東西の軸において、隅田公園を中心とした河川・道路・鉄道高架下による連続した一体的な賑わい空間として創出し、その賑わいを向島や両国・本所地区の南北方向にも広げていくことで、回遊を促進していく。

一体整備のイメージ図



一体整備のイメージ図



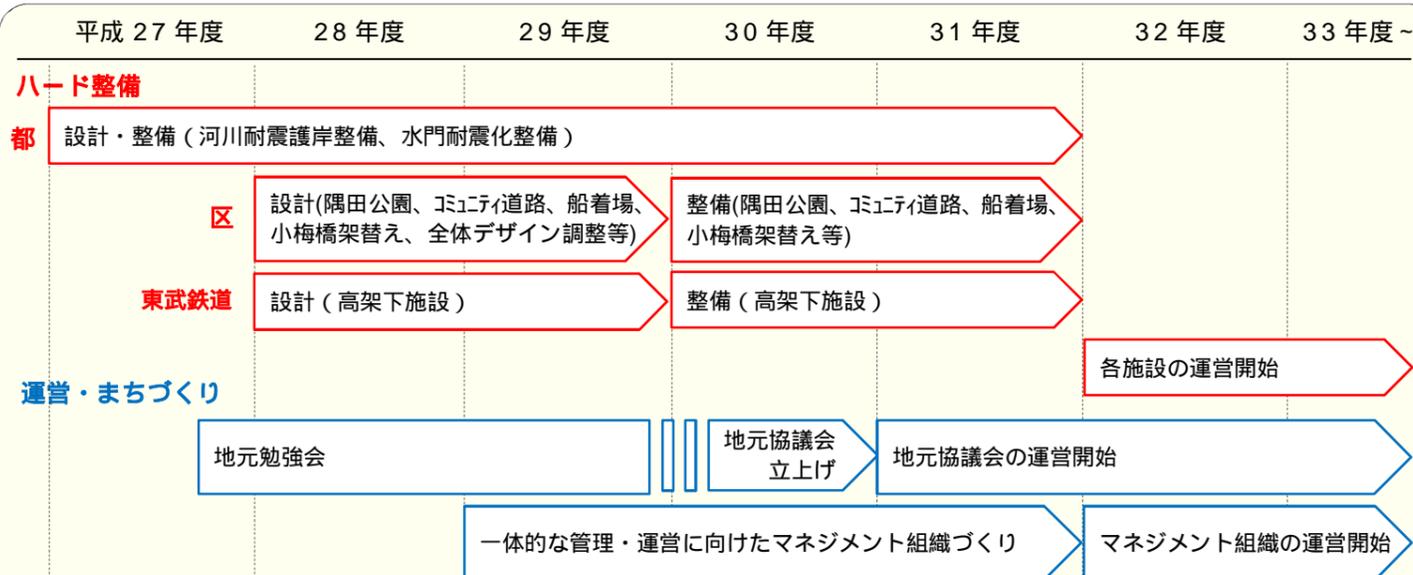
鉄道高架下施設イメージ



提供：東武鉄道株式会社

高架下施設（公園側）

実現に向けた展開



提供：東武鉄道株式会社

高架下施設（河川側）

現時点でのイメージであり、詳細設計や関係機関等との調整により、今後変更になる場合がある。